

2017年7月7日

## 【業界初】人工知能（AI）を活用した 自動車保険証券・車検証読取りアプリ『カシャらく見積り』の提供開始

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、人工知能（AI）を活用して、タブレット端末のカメラ機能で撮影した自動車保険証券および車検証の内容を自動で読み取り、読み取った内容を保険料計算システムへ転送することで、お見積りからご契約手続きまでシームレスかつペーパーレスで完了できるアプリ『カシャらく見積り』を開発しました。

本アプリにより、従来にはない保険募集スタイルを定着させ、お客さま対応の品質向上を実現します。

### 1. アプリ開発の背景

- ・損保ジャパン日本興亜は、中期経営計画で目指す「最もお客さまに支持される損害保険会社」の実現に向けて、お客さまとの接点である代理店および営業店の募集品質を向上させるため、デジタル技術を活用した課題の解決に取り組んでいます。
- ・これまで代理店では、新規のお客さまが現在ご加入されている保険の補償内容を、損保ジャパン日本興亜の補償に読み替えて代理店システム（保険料計算システム）へ入力するため、最適な補償内容のご提案までに時間を要し、お客さまをお待たせすることがありました。
- ・また、代理店の従業員が、お客さまの現在の補償内容を確認し、最適な補償内容を提案するための知識およびスキルには個人差があるため、従業員を多く抱える代理店にとって募集品質の平準化および向上が課題でした。
- ・さらに、近年保険募集時に利用が増えているタブレット端末は、持ち運びが便利である一方、入力しづらく手間がかかるという課題がありました。
- ・損保ジャパン日本興亜では、POC（実証実験）により、ディープラーニング（深層学習）を取り入れた画像認識AIを活用することでこれらの課題を解決できることが確認できたため、本アプリを開発しました。

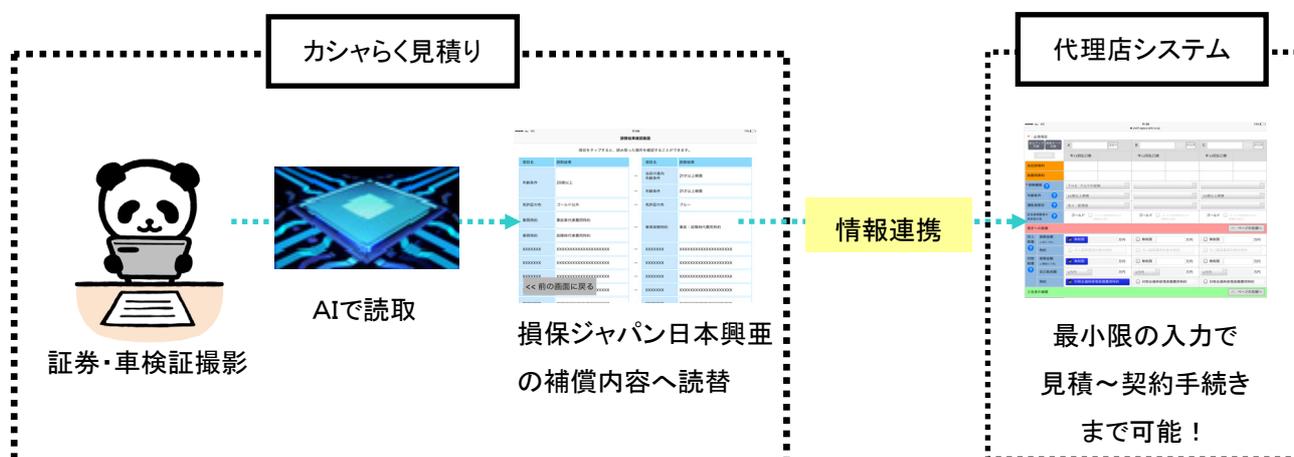
### 2. アプリの概要

#### （1）アプリの仕組み

- ・損保ジャパン日本興亜の代理店システム（S J N K - N E T）から『カシャらく見積り』を起動し、タブレット端末のカメラ機能で撮影した保険証券または車検証の画像データを人工知能（AI）の学習モデルを使ってデータ化します。

※今回のAI学習および画像認識は、2017年6月29日発表のSOMPOホールディングスグループ専用AI工場「エッジAIセンター」で行います。

- ・読み取ったデータは、自動的に損保ジャパン日本興亜の補償内容に読み替え、代理店システム（S J N K - N E T）へ送信することで、自動車保険のお見積りを作成でき、そのまま画面を見ながらペーパーレスでご契約手続きまで完了できます。



## (2) 効果

- ・保険証券の内容確認からお見積りご提示までの時間が大幅に短縮されるため、お客さまをお待たせすることなく一連のお手続きを完了できます。
- ・代理店の募集に関わるプロセスが削減されるため、代理店の生産性向上が図られます。
- ・『カシャらく見積り』を活用した新たな募集提案スタイルの定着により、お客さま対応の品質向上が可能となります。

## (3) リリース日

2017年8月にiPad用アプリをリリース予定

※Windows Tablet・Android用アプリは、年度内に順次リリース予定です。

## 3. 今後について

人工知能（AI）の精度向上および読取り対象帳票の拡大により、ご契約手続きの利便性およびそれに伴うお客さま満足度の向上を図ります。また、お客さま向けのサービスにおいても『カシャらく見積り』で構築した人工知能（AI）の活用を検討していきます。

以上